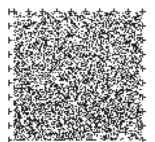


第3次

広島県がん対策 推進計画の概要

平成30(2018)年3月



音声コード

01. 第3次がん対策推進計画について

02. がんを取り巻く現状

計画策定の趣旨

広島県では、これまで、第1次及び第2次「がん対策推進計画」に基づき、県内どこでも、あらゆる場面にに対応する隙間のない総合的ながん対策を推進してきました。

こうした取組により、第2次計画で目標としていた「がんによる死亡率」(75歳未満の年齢調整死亡率)の10%減少については、平成27(2015)年に72.0人となり、目標年次より1年早く目標を達成しています。

しかしながら、受動喫煙防止対策やがん検診の受診率向上が十分とはいえないこと、希少がん、難治性がん、小児がん、AYA世代のがんへの対策や、ゲノム医療等の新たな治療法の推進、就労を含めた社会的な問題への対応が求められています。

このような現状を踏まえ、これまでのがん対策を更に推し進めるとともに、新たな課題にも果敢に挑戦し、より充実した総合的ながん対策を展開していくために、第3次「広島県がん対策推進計画」を策定しました。

この計画では、本県のがん対策が広く県民の皆様に理解され、県民一人ひとりの行動につながるよう、県民総ぐるみのがん対策の実現を目指しています。

計画期間

計画期間は、平成30(2018)年度から平成35(2023)年度までの6年間

基本理念

次の2つを計画の「基本理念」として、「ひろしま未来チャレンジビジョン」に掲げた“がん対策日本一”の実現を目指します。

- I 「県内のどこに住んでいても、どんながんであっても、必要な手立てや情報を受けることができ、安心して暮らせる広島県」を目指し、総合対策を強化する。**
- II 県民みんなが、がんを自分にも起こり得ることとして関心を持ち、それぞれの立場で予防や検診も含めた「がん対策」に取り組む社会をつくる。**

目指す姿(将来像)と全体目標

基本理念のもと、3つの「目指す姿」を掲げ、県民総ぐるみの総合的ながん対策を推進します。また、6年間における施策全体としての全体目標を設定します。

- 1 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実**
▶ 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診が実施されており、県民は、主体的に行動に移しています。
- 2 患者本位のがん医療の実現**
▶ がん患者とその家族等が、病態や治療内容等について正しく理解した上で、患者本位のがん医療が提供されています。
- 3 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築**
▶ 県民だれもが、がんに対する理解を深め、尊厳を持って安心して暮らせる社会が構築されています。

全体目標 がん死亡する県民の減少

遅くとも第4次計画期間内(H36~H41)に75歳未満のがんによる年齢調整死亡率(人口10万対)全国1位
〔本計画最終年(平成35(2023)年時:58.0人以下)〕

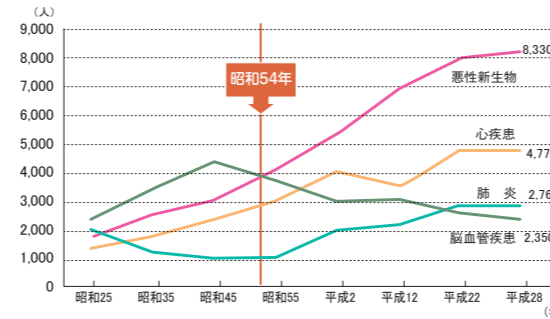
重点的に取り組みます

第1次及び第2次「がん対策推進計画」におけるこれまでの取組状況を踏まえ、今後一層の充実・強化が必要な課題や、新たに明らかになった課題として、**がんの早期発見、がん検診(2次予防)、在宅緩和ケアの充実、治療と仕事の両立支援**に重点的に取り組みます。

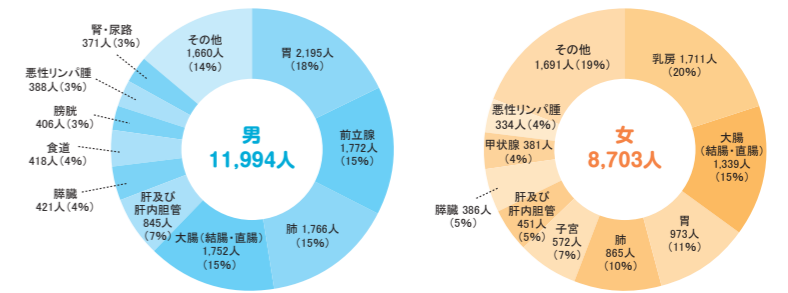
がんの死亡・がん罹患数の状況

- 広島県における“がん”による死亡者は、全死亡者の3割弱を占め、昭和54(1979)年から死亡原因の第1位となっており、高齢化の影響から増加傾向にあります。
- 1年間で“がん”にかかる人の数は2万人を超えており、部位別にみると、男性では胃、前立腺、肺、女性では、乳房、大腸、胃の順に多くなっています。

主要死因別の死亡者数の推移(広島県人口動態統計年報)



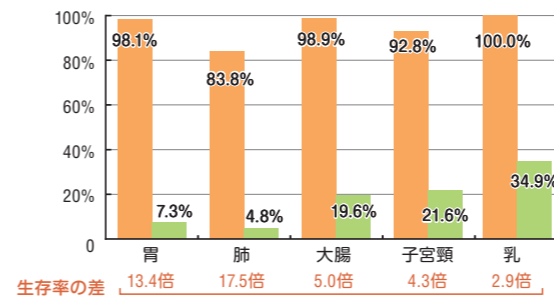
男女別・部位別のがん罹患状況(広島のがん登録平成24(2012)年集計)



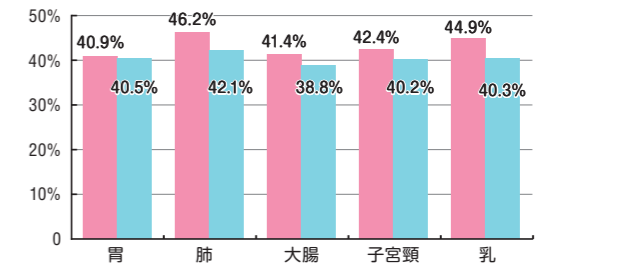
がん検診の状況

広島県におけるがん検診受診率は、40%程度であり、5つのがん(胃、肺、大腸、子宮頸、乳)全ての部位で全国平均を下回っています。

早期発見がんと進行がんの5年相対生存率の比較



がん検診受診率(厚生労働省「平成28年国民生活基礎調査」)



がん医療提供体制の状況

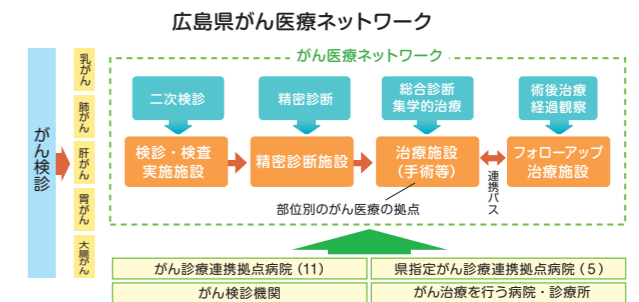
- 広島県では「がん診療連携拠点病院」が県内すべての二次保健医療圏に指定されているなど、住み慣れた地域で質の高いがん医療が受けられる基盤を整備しています。また広島大学病院が「小児がん拠点病院」に指定されています。
- 高度で効果的な高精度放射線治療を提供するため、「広島がん高精度放射線治療センター(HIPRAC)」を運営しています。

広島県の二次保健医療圏・がん診療連携拠点病院



がん医療連携体制の状況

- 検診から術後のフォローアップまでを切れ目なくつなぎ、適切で安全ながん医療を提供するため、患者数の多い5つのがん(乳・肺・肝・胃・大腸)について、広島県独自の「がん医療ネットワーク」を構築しています。



03. 「がん対策日本一」の実現を目指して

1 がんの予防・がん検診 — 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実 —

がんの予防・がん検診の目指す姿

■ 生活習慣の改善, 感染症対策等によるがん予防 (1次予防)

- がんになるリスクを軽減するための有効な対策が県民に知られ, 実践もされており, がんになる県民が減少しています。
- 全ての県民が, 1回は肝炎ウイルス検査を受検し, 感染を早期に発見して適切な医療を受けています。
- 県民一人ひとりが, がんを自分にも起こり得ることとして関心を持ち, がんにならない生活習慣を心掛けています。

■ がんの早期発見, がん検診 (2次予防)

- 県民にとって受診しやすく, かつ死亡率減少につながる科学的根拠に基づいた「がん検診」が県内で実施されています。
- 早期発見の重要性に対する県民一人ひとりの理解が根付いており, 「がん検診」及びその検査結果に応じて必要となる「精密検査」を受診することにより, 早期発見につながっています。

主な対策

- 禁煙や良好な生活習慣の実現に向けた普及啓発や禁煙支援・保健指導を充実・強化します。
- 公共機関や飲食店における受動喫煙防止対策を徹底します。
- 肝炎ウイルスへの新たな感染の防止や検査の受検, 肝炎ウイルスキャリアの医療機関受診を促進します。

主な対策

- 科学的根拠に基づくがん検診を実施し, がんの死亡率の減少を図ります。
- 精密検査の未受診者に対し受診勧奨を行うなど, がん検診の質の向上を図ります。
- 受診行動に繋がる普及啓発, 県民一人ひとりへの受診勧奨, 受診しやすい環境づくりを行うなど, がん検診の受診率向上を図ります。



みんなの取組

- **県民** がん予防についての正しい知識に基づき, 生活習慣の改善に努めます。
- **医療機関** 禁煙指導を行うとともに, 肝炎ウイルスなどの検診や治療に努めます。
- **企業等** 従業員に対する生活習慣の改善などの普及啓発や受動喫煙防止対策などに努めます。
- **行政** がんにならないための生活習慣などの普及啓発に努めます。

みんなの取組

- **県民** がん検診の必要性を理解するとともに, 早期発見のため積極的にがん検診を受診します。
- **医療機関** 質の高いがん検診を行うとともに, 患者等に対するがん検診の受診勧奨に積極的に取り組みます。
- **企業等** がん検診の普及啓発の取組に積極的に参画するとともに, 従業員等が受診しやすい環境づくりに努めます。
- **行政** がん検診受診率の向上や, 質の高い検診の実施体制の構築に努めます。

主な分野目標

- 喫煙率
喫煙者の減少
(成人男性 18%以下・成人女性 5%以下)
- 受動喫煙防止対策
県・市町の施設における禁煙・分煙の措置 (100%)
- 肝炎ウイルス検査の受検率
受検者の増加 (受検率 55%以上)

主な分野目標

- がん検診
受診者の増加 (受診率 50%以上)
- がん検診の精密検査
受診者の増加 (受診率 90%以上
未把握率 5%以下)



広島県がん検診啓発特使
デーモン閣下さん (悪魔)

2 がん医療 — 患者本位のがん医療の実現 —

がん医療の目指す姿

- がん患者とその家族等が, 病態や治療内容等について正しく理解した上で, 患者本位のがん医療が提供されています。



主な対策

- がん診療連携拠点病院の機能を強化するとともに, 希少がん, 小児がんについて集約と連携により医療水準を確保するなど, 医療提供体制の充実を図ります。
- 手術, 放射線治療, 薬物療法等の各分野の専門スタッフを育成するとともに, 身体への負担の少ない低侵襲手術, 放射線治療の普及など, 医療内容の充実を図ります。
- がん治療に伴う副作用・合併症・後遺症を軽減し, 患者のQOLを向上させるよう, チーム医療による患者サポートの充実を図ります。

みんなの取組

- **県民** がんについて正しい情報に基づいて適切に判断し, 必要な治療を受けます。
- **医療機関** 効果的な医療連携と人材育成等に取り組み, 質の高いがん医療を提供します。
- **行政** 県民に適切で安全ながん医療を提供できるよう, 効果的な医療連携を推進し, がん医療情報の提供に努めます。

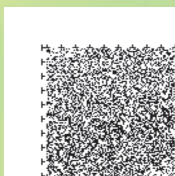


主な分野目標

- 医療提供体制
がん診療連携拠点病院の機能強化
希少がん, 小児がんの集約化の推進と連携の強化
- 医療内容充実
がん治療の各分野の
人材育成と適正配置等



広島がん高精度放射線治療センター



03. 「がん対策日本一」の実現を目指して

3 がんとの共生 — 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築 —

がんとの共生の目指す姿

■ がんと診断された時からの緩和ケア

- がんと診断された時から、希望する場所で、すべてのがん患者とその家族等が、適切な緩和ケアを受けられる体制が整っています。

主な対策

- 施設緩和ケアの充実、緩和ケアに携わる人材の育成及び緩和ケアに対する正しい理解の促進など、がんと診断された時からすべてのがん患者とその家族等が適切な緩和ケアを受けられる体制の充実・強化を図ります。

みんなの取組

- 県民** 緩和ケアについての正しい理解に基づき適切に判断し、必要な緩和ケアを受けます。
- 医療機関** 施設緩和ケアの充実、人材の育成・確保及び情報発信の強化に取り組み、適切な緩和ケアの提供に努めます。
- 行政** 県全体の総合的な取組を更に進めながら、がんと診断された時からすべてのがん患者とその家族等が、適切な緩和ケアを受けられる体制の充実・強化に努めます。

主な分野目標

- 施設緩和ケア
全てのがん患者に診断時から苦痛のスクリーニングを実施
- 人材の育成・確保
緩和ケアに携わる多職種の人材育成
医師に対する緩和ケア研修の充実

■ 社会全体で取り組む、がん対策・がん患者支援

- “がんと共に” 自分らしく生きるための地域における療養支援体制ができています。



主な対策

- 地域の療養体制や在宅緩和ケアを充実させ、がん患者が住み慣れた地域において、効率的な医療・福祉サービスを受けられる体制を整備します。

みんなの取組

- 県民** がんについての正しい情報に基づき、必要な在宅医療、緩和ケアを受けます。
- 医療機関** 在宅医療、在宅緩和ケアに必要な連携強化に取り組みます。
- 介護関係機関等** 在宅緩和ケアに必要な連携強化や多職種人材育成に取り組み、介護保険施設での緩和ケアの推進に努めます。
- 行政** がん患者が住み慣れた地域で尊厳を持って安心して暮らせる地域共生社会を実現するため、地域における医療、緩和ケアを充実します。

主な分野目標

- 在宅緩和ケアの提供体制
在宅緩和ケアの拠点づくりの推進
がん患者に対応できる地域包括支援センターの増加

■ 相談支援、情報提供

- 県民一人ひとりが、がんに関する正しい情報の提供を十分に受け、正しく理解し、それぞれの立場で予防や検診を含めた「がん対策」に取り組んでいます。
- がん患者が納得した治療を受けながら、家族等とともに不安や悩みをいつでもどこでも相談でき、安心して療養生活を送っています。

主な対策

- がん患者団体等と連携した情報提供、相談支援の推進、がん診療連携拠点病院の情報提供、相談支援機能の強化、学校教育におけるがん教育の実践、ピア・サポートの充実などにより、がん患者とその家族等が必要な時に情報提供、相談支援が受けられる体制を整備します。

みんなの取組

- 県民** がんに関する正しい情報を積極的に収集し、それぞれの立場で予防や検診を含めた「がん対策」に取り組みます。
- 医療機関** 県民に対するがん医療等に関する正しい情報を積極的に提供するとともに、がん患者とその家族等からの就労を含む様々な相談に応じ支援します。

主な分野目標

- 情報提供
「広島がんネット」に掲載する情報の充実
- がん教育
全ての公立学校においてがん教育を実践
- 相談支援
全てのがん患者が相談を受けられる仕組みの構築
ピア・サポートに対応できる体制の整備



■ がん患者等の就労を含めた社会的な問題への対応

- 医療機関、教育機関、職場の十分な理解と協力を得て、がん患者・家族等が教育、仕事、家庭生活と治療を両立させながら、尊厳を持って自分らしく暮らすことができます。

主な対策

- がん患者が治療と仕事の両立ができるよう、がん診療連携拠点病院の就労支援機能の強化を図るとともに、企業の就労支援環境づくりを促進します。

企業等

がんに関する情報提供の取組に積極的に参画・支援するとともに、がん患者が治療と仕事の両立ができるよう支援します。

がん患者団体等

積極的にがん患者とその家族等を含めた県民に情報発信するとともに、自らピア・サポートの充実に取り組みます。

主な分野目標

- 就労支援等
がん診療連携拠点病院における就労支援コーディネーターの配置
Team がん対策ひろしま登録企業数の増加 (100 社)

■ ライフステージに応じたがん対策

- 小児・AYA 世代、高齢者等といったライフステージに応じて、必要な支援を適切に受けられています。

主な対策

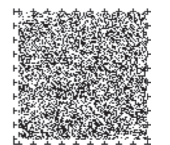
- 小児・AYA 世代のがん患者に対し、就学、就労、妊娠等について、個々の状況に応じた支援を実施します。
- 高齢のがん患者が、本人とその家族の意思が尊重された療養生活を送ることができる、地域共生社会を実現するための施策を推進します。

行政

がん患者とその家族等を含めた県民に必要な情報が提供されるよう支援するとともに、充実した相談支援体制の構築を図ります。

主な分野目標

- ライフステージに応じた支援
生殖機能温存治療を受けた患者数
がん診療連携拠点病院における就労支援コーディネーターの配置 (再掲)
がん患者に対応できる地域包括支援センターの増加 (再掲)



知っておきたい!“がん情報”



がんを予防しよう

がんは生活習慣を改善することで、ある程度防ぐことができます。
「日本人のためのがん予防法」を実践し、がんにならない生活習慣を身につけよう！

<p>喫煙</p> <p>たばこは吸わない 他人のたばこの煙を 避ける。</p>	<p>飲酒</p> <p>飲むなら、節度のある 飲酒をする。</p>	<p>食事</p> <p>偏らずバランスよくとる。 *塩蔵食品、食塩の摂取 は最小限にする。 *野菜や果物不足に ならない。 *飲食物を熱い状態で とらない</p>	<p>身体活動</p> <p>日常生活を活動的に 過ごす。</p>	<p>体形</p> <p>成人期での体重を 適正な範囲内に 維持する。</p>	<p>感染</p> <p>肝炎ウイルス感染の有無 を知り、感染している場合 は適切な措置をとる。 機会があれば ピロリ菌感染検査を。</p>
---	---	---	--	--	---

国立がん研修センター「日本人のためのがん予防法」より



がん検診を受けよう

がんは、検診により早期に発見された場合、軽い治療でそのほとんどが治ります。
早期にがんを発見するため、がん検診を受診しましょう！

<p>肺がん検診</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎40歳以上(年に1回) ◎胸部X線検査 ◎喀痰細胞診(ハイリスクの人のみ) 	<p>胃がん検診</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎50歳以上(2年に1回) ◎胃X線検査または胃内視鏡検査 	<p>大腸がん検診</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎40歳以上(年に1回) ◎便潜血検査 	<p>乳がん検診</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎40歳以上(2年に1回) ◎マンモグラフィ(乳房X線) 	<p>子宮頸がん検診</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎20歳以上(2年に1回) ◎細胞診検査
--	--	---	---	---



がんに関する正しい知識を得よう

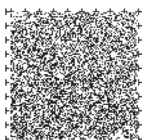
「広島がんネット」では、がんに関する様々な情報を提供しています。
<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/gan-net/>

広島がんネット



がん診療連携拠点病院ではがんに関する相談などに応じています。

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
広島大学病院 患者支援センター・ がん治療センターがん医療相談室	直 082-257-1525	東広島医療センター がん相談支援センター	代 082-423-2176(6227)
県立広島病院 がん相談支援センター	直 082-256-3561	尾道総合病院 医療福祉支援センター	代 0848-22-8111(3108)
広島市立広島市民病院 がん相談支援センター	直 082-221-1351	福山市民病院 がん相談支援センター	代 084-941-5151(3147)
広島赤十字・原爆病院 相談支援センター・がん相談支援センター	直 082-241-3477 代 082-241-3111	市立三次中央病院 がん相談支援センター	代 0824-65-0101
広島市立安佐市民病院 がん相談支援センター	直 082-815-5533	呉共済病院 がん相談支援センター	代 0823-22-2111(5160)
広島総合病院 がん相談支援センター	直 0829-36-3270	中国労災病院 がん相談支援センター	代 0823-72-7171
呉医療センター がん相談支援センター	直 0823-24-6358	尾道市立市民病院 がん相談センター	代 0848-47-1155(437)
		福山医療センター がん相談支援センター	代 084-922-0001(7137)
		中国中央病院 がん相談支援センター	直 084-970-2284



問い合わせ先

広島県健康福祉局がん対策課 〒730-8511 広島市中区基町10-52
TEL.082-513-3063 (ダイヤルイン) FAX.082-223-3573 E-mail: fugantaisaku@pref.hiroshima.lg.jp

これは音声コードです。目の不自由な方への情報提供を目的としています。